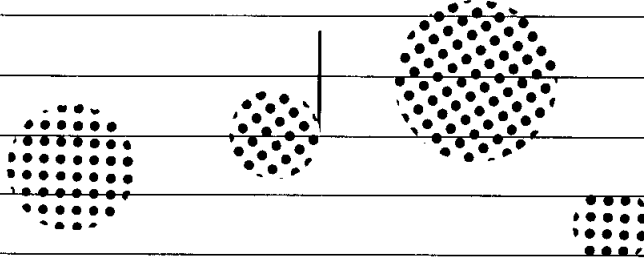


YAMAHA

PortaSound



PSS-140

取扱説明書



ヤマハポータサウンドPSS-140を
お買い上げいただき、ありがとうございます。

このガイドブックは、PSS-140の操作方法を機能別に説明したものです。
ぜひご一読ください。
また、お読みになった後も、保証書と共に大切に保管して、
わからないことがあるときに、ご活用ください。

目次

	ページ
各部の名称とはたらき	1
はじめに	2
音を出してみよう	2
リズムを加えてみましょう	3
ドラムパッドの使い方	4
自動伴奏機能を使いこなそう	5
レッツ・プレイ・ミュージック	
●ドレミの歌	6
●オートベースコード一覧表	6
故障と誤りやすい現象	7
仕様	8
アフターサービスと保証	9

取扱上の注意



こんな場所には置かないでください

- 暖房器具のそばや日中の車内など、極端に温度が高い場所に置かないでください。
- 高湿な所やホコリの多い所も避けてください。



使用後は

- 必ずパワースイッチを切ってください。
- 長時間使わないときは、電池を抜いておいてください。
- 電源アダプターを使用している場合も、使わないときはコンセントからプラグを抜いてください。



ラジオやテレビから離してお使いください

- ラジオやテレビなどのすぐ近くで使いますと、ラジオやテレビ側で雑音を発することがあります。十分に離してお使いください。



お手入れは

- 柔らかい布でから拭きしてください。
- 汚れがひどいときには、少し水で湿らせた布で拭いてください。
- アルコールやシンナー類は、本体の外装を痛めますので、絶対に使わないでください。
- 塩ビ系のものを長時間置いておくと、張り付いてしまうことがあるのでご注意ください。



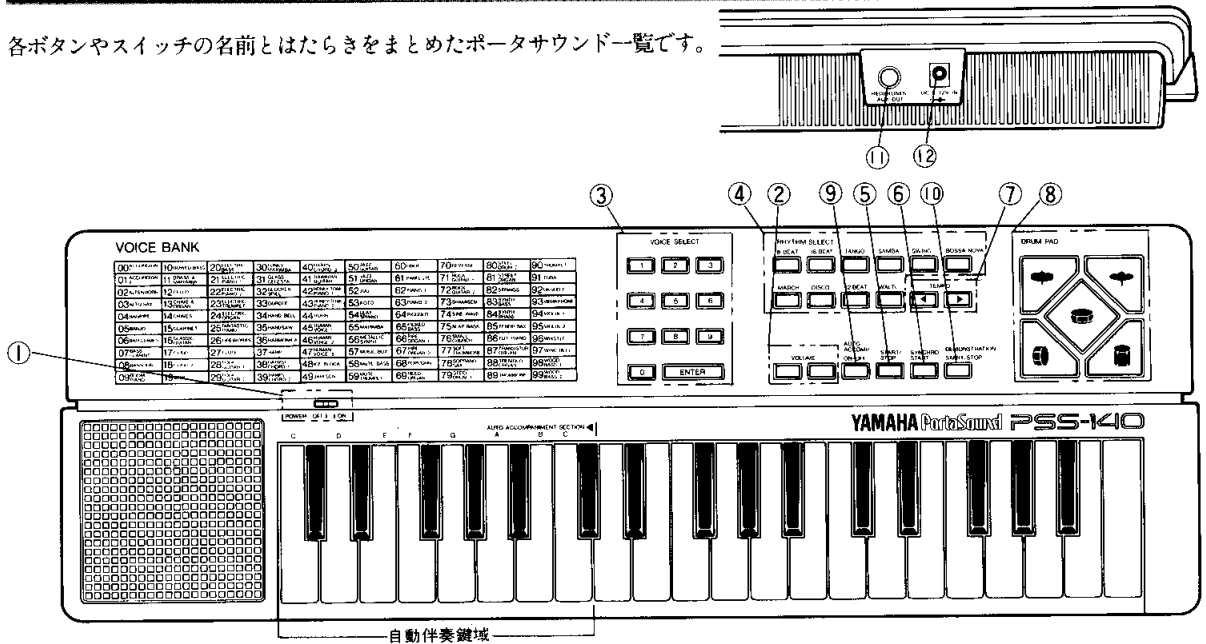
無理に力を加えないでください

- 本体を落としたり、重いものをのせないでください。
- ボタンやスイッチ類に、無理な力を加えないでください。

音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては、大変気になるものです。特に、夜間は小さな音でもよく通り、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホーンを使うなど、お互いに心を配り快適な生活環境をまもりましょう。

各ボタンやスイッチの名前とはたらきをまとめたポータサウンド一覧です。



全体のコントロール (2 ページ)

① パワースイッチ

電源を入れるスイッチです。

② ボリュームコントロール

鍵盤、自動伴奏、オートリズムの音量をコントロールします。

音色 (2 ページ)

③ ボイスセレクト

100種類の音色の中から〈0〉～〈9〉ボタンで選び、〈ENTER〉ボタンをセットして鍵盤を押すと、指定した音色が鳴ります。

リズム (3 ページ)

④ リズムセレクト

リズムの種類を選ぶボタンです。

⑤ スタート/ストップ

オートリズムをスタートさせるボタン。スタートした後、もう一度押すとストップします。

⑥ シンクrostart

このボタンを押すと、自動伴奏用鍵盤を押すのと同時にリズムがスタートします。

⑦ テンポ

リズムのテンポを調節するボタンで、◀を押せばおそく、▶を押せば速くなります。

⑧ ドラムパッド

指で押さえると、それぞれの打楽器音が鳴ります。

自動伴奏 (5 ページ)

⑨ オートアカンパニメント・オン/オフ

自動伴奏で演奏をするときに押すボタンです。

デモンストレーション

⑩ スタート/ストップ

本機のデモンストレーション演奏をスタート/ストップさせるときに押すボタンです。曲の進行に合わせて演奏が変化するようにセットされていますが、自由にお好きな音色、ボリューム、リズム(ただし、SWING、12BEAT、WALTZは除く)に変えることができます。

外部端子

⑪ HEADPHONES/AUX. OUT端子

本機の音を出力する端子で、ヘッドホンやキーボードアンプステレオアンプと接続するときに使います。

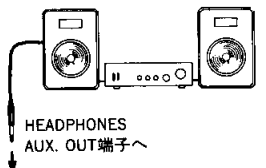
●ヘッドホン端子としての使い方

ヘッドホンを接続すると、PSS-140の内蔵スピーカーからは音が流れなくなります。一人で楽しみたいときや周囲に迷惑をかけがちな夜間の練習に最適です。



●キーボードアンプやステレオへの接続

キーボードアンプやステレオアンプに接続すると、より大きな音を出すことができます。ミキサーに接続することも可能です。なお、この場合も内蔵スピーカーからは、音が出なくなります。



⑫ DC9-12V IN端子

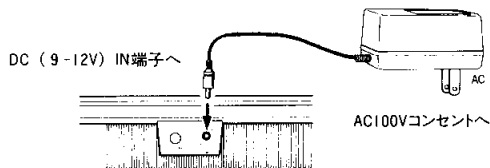
電源アダプターを接続する端子です。

電源のセット方法

PSS-140は、乾電池でも家庭用コンセントでもご使用になれます。

①コンセントを使う場合

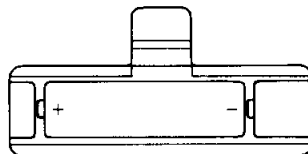
別売の電源アダプター（PA-1 B、PA-3）が必要です。
PSS-140本体の側面にあるDC 9-12V IN端子に、電源アダプターのプラグを差し込んでください。



電源アダプターが、AC100V（家庭用コンセント）をPSS-140に合うDC 9-12Vに変換します。なお、アダプターによっては仕様が異なることがありますので、上記のアダプター以外のご使用にならないでください。

②電池を使う場合

まず、PSS-140の裏側にある電池ケースのフタをあげ、付属の単3乾電池6本を一列に入れます。この時、+と-の方向を間違えないようにご注意ください。セットが完了したら、フタを元どおりにしててください。



電池に寿命がきて電圧が落ちてきますと、音が途切れたり、出なくなったりなど、調子が不安定になったりします。このような状態のときは、6本共新しい電池と交換してください。電池は、寿命の長いアルカリタイプをお勧めします。

PSS-140は、FM音源ならではのリアルなボイス（音色）を100種類内蔵しています。

①パワースイッチをONにします

※このとき、音色は自動的に00（アコーディオン1）にセットされます。



②ボリュームを調節します

ボリュームは◀ボタンを押すたびに小さく、▶ボタンを押すごとに大きくなります。鍵盤を弾いて音を出しながら適当な音量に調節してください。

※音量は11段階に調節できますが、最小の<1>は、音が聞こえなくなります。なお、パワーをONにしたときの大きさは<10>となります。



④音を出してみましょう

鍵盤を押すと、③で選んだ音色が鳴り出します。

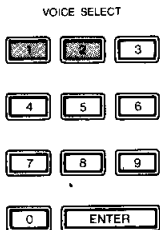


選んだ音色が出ましたか？

それでは、「喜びの歌」をプレイしてみましょう。

③音色を選びます

本体のフロントパネルにプリントされているボイスナンバーを指定し、<ENTER> ボタンを押せばセット完了。たとえば、ボイスNo.12のチェロの場合、<1>のボタンを押してから<2>のボタンを押し、そのつぎに、<ENTER> ボタンを押します。



※ボイスナンバーは、2桁の数字で指定します。はじめに10の位、つぎに1の位の順番で指定してください。

MEMO (1)

※いくつかの鍵盤を同時に押さえたときには、6音まで鳴ります。7音以上押さえたときには、後から押さえた音が優先的に発音されます。

喜びの歌

from Symphony No9

作曲：L・V・Beethoven



PSS-140は、100種類の音色を内蔵しています。
いろいろな音色に変えてメロディを演奏してみましょう。

※楽譜についている「C」「G7」等のコードネームによる伴奏の付け方については、5ページで説明します。



リズム・バラエティは、10種類。こんどは、リズムを加えて演奏してみましょう。

①リズムセレクトのボタンで、リズムを一つ選びます



※パワースイッチをONにした時には、自動的に8ビートにセットされます。

②リズムのスタート/ストップボタンを押します



③テンポを調節します

◀、▶ボタンを押して、弾く曲にあったテンポに調節します。テンポの変更は、リズムがスタートしているときだけでなく、止まっているときにも可能です。



★テンポは16段階に変えられます。パワースイッチをONにすると、自動的にJ=124となります。▶を6回押したときがいちばん速く（J=230）、◀を9回押したときがいちばん遅く（J=40）となります。それ以上押してもテンポは変化しません。

シンクロスタート

シンクロスタートボタンを使うと、演奏の開始と同時にリズムをスタートさせることができます。

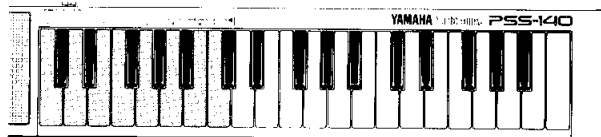
①リズムを選びます。

②シンクロスタートボタンを押します。

このとき、選んだリズムの拍子の4分音符のタイミングでハイハット音が鳴ります。



③C#3以下の鍵盤を押してプレイすると同時に、リズムがスタートします。



MEMO (2)

※①で選んだリズムを止めずに、別のリズムに切り替えることもできます。切り替えたいときには、①の操作を繰り返してください。ボタンを押した小節の次の小節の頭から、リズムのスタイルが切り替わります。

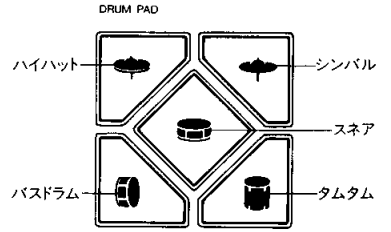
④リズムの止め方

スタート/ストップボタンを押すと、リズムが停止します。

ドラムパッドの使い方

ドラムパッドを指で押すと、それぞれ①シンバル、②ハイハット、③スネア、④タムタム、⑤バスドラムの音が鳴ります。

他の楽器とアンサンブルをするときに、ドラムパッドを使えば、PSS-140にドラムのパートを受け持たせることもできます。



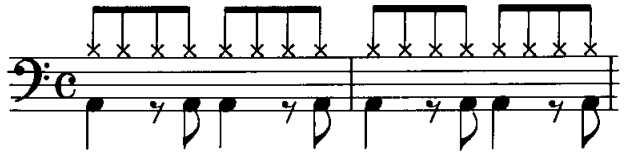
リズムの記譜のしかた



では、代表的な例をいくつか上げてみましょう。

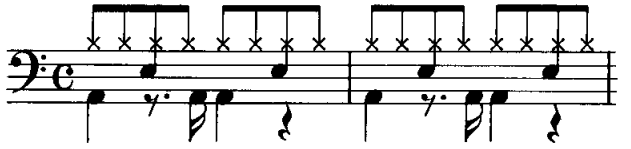
①ポップス(1)

アイドル歌手の曲に多いパターン。
明るくポップな感じが特長。



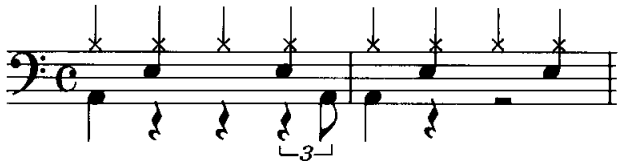
②ポップス(2)

ニューミュージック系の曲に多いパターン。
アップテンポにジャストマッチ!



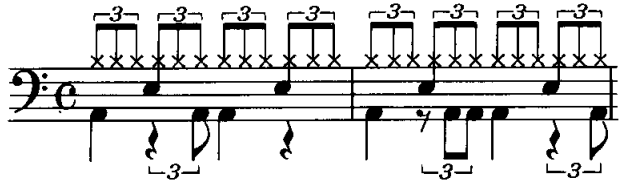
③シャッフル

アメリカ系ポップスに多い、跳ねる感じのリズムパターン。



④ロックバラード

スローロックの変型で、バラードっぽいノリが特長。



ドラムパッドの応用——ブレイクとフィルイン



上の曲でオートリズムを使った場合、①の4分休符のところでドラムパッドのいずれかを指で押さえると、②の頭までオートリズムは鳴りません。これを利用すると、曲の中でドラムパッドを使って、正確なブレイクができます。また、①の小節内で、シンバル、タムタム、スネア等を好みのパターンで叩けば、リズムにフィルイン(俗にいうオカズ)を入れることができます。

コード演奏は苦手という人も、自動伴奏(オートアカンパニメント)機能を使えば、指一本でカッコいいオートベースコードの伴奏を加えることができます。

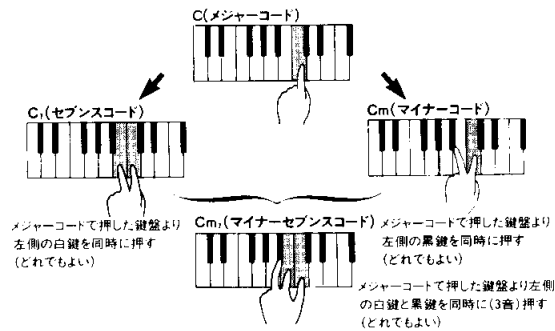
オートアカンパニメントボタンを押すと、コードを全部押えなくても、簡単に自動伴奏をさせることができます。たとえば、メジャーコードなら指一本、その他のコードでも2、3鍵押さえるだけでOKです。リズム・スタイルによって、楽器の編成、音量、パターンが異なります。



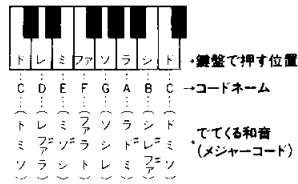
オートベースコードについて

オートベースコードを使って出せるコードは、アルファベット1文字の「メジャーコード」、小さなmの「マイナーコード」、小さな7の「セブンスコード」、そしてmと7の両方がついている「マイナーセブンスコード」の4種類です。

セブンスコード、マイナーコードのだし方



次の図は、オートベースコード用鍵盤をおす位置と、てくる和音の関係を示したものです。



#、bのついているコードのだし方



がついていたら、上の図で説明した位置の右の上の黒鍵、b がついていたら左上の黒鍵をおせば、#・bのついたコードがだせます。

詳しくは6ページの一覧表をご覧ください。

オートベースコードの使い方

①オートアカンパニメントオン/オフボタンを押します。



②リズムを選びます。

③シンクロスタートボタンまたはスタート/ストップボタンを押します。スタート/ストップボタンを押した場合は、この時点でリズムが鳴りだします。

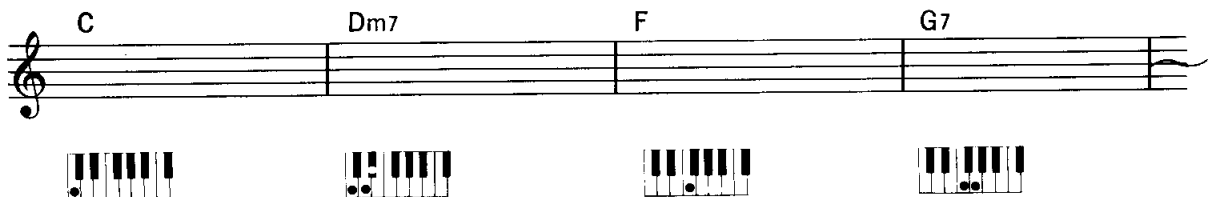
④曲のコード進行に合わせて、C# 3以下のオートベースコード用鍵盤を押さえると、自動伴奏が始まります。

⑤演奏を終了させたいときには、スタート/ストップボタンを押してください。

MEMO (3)

※オートアカンパニメントを使用すると、メロディー演奏音は、同時に2音までとなります。

オートベースコード プレイの例



ドレミのうた R. Rodgers 作曲



自動伴奏機能を使って、ドレミのうたを弾いてみましょう。リズムは、
 <マーチ>。音色は<46>(ヒューマンボイス2)。テンポは<4>を4回押し
 てください。楽譜は読みやすさを考えて、1オクターブ下げてあります
 ので、1オクターブ上げて弾いてください。

© 1959 by WILLIAMSON MUSIC INC.
 Rights for Japan assigned to CHAPPELL/INTERSONG K.K.
 日本音楽著作権協会(出)許諾第8870096-801号

オートベースコード一覧表

メジャーコード

C	
D<(C')>	
D	
E<(D')>	
E	
F	
F<(G')>	
G	
A<(G')>	
A	
B<(A')>	
B	

セブンスコード

C7	
D7<(C')>	
D7	
E7<(D')>	
E7	
F7	
F7<(G')>	
G7	
A7<(G')>	
A7	
B7<(A')>	
B7	

マイナーコード

Cm	
D'm<(C'm)>	
Dm	
E'm<(D'm)>	
Em	
Fm	
F'm<(G'm)>	
Gm	
A'm<(G'm)>	
Am	
B'm<(A'm)>	
Bm	

マイナーセブンスコード

Cm7	
D'm7<(C'm7)>	
Dm7	
E'm7<(D'm7)>	
Em7	
Fm7	
F'm7<(G'm7)>	
Gm7	
A'm7<(G'm7)>	
Am7	
B'm7<(A'm7)>	
Bm7	

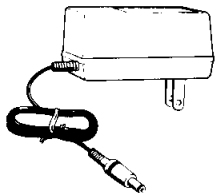
故障した!と思う前に、ちょっとお確かめください。

現象	原因	解決方法
パワースイッチを切ったときに、ポツンと音がする。	電気が流れたため。	ご心配いりません。
スピーカーから音が出ない。	ボリュームが下がっているため。	ボリュームを上げてください。
	HEADPHONES/AUX. OUT端子にプラグを差し込んでいるため。	プラグを抜いてください。
ボイスセレクトで選んだ音色とは、別の音色が出る。	ナンバーを選んだ後、〈ENTER〉ボタンを押さなかったため。	音色を変えるときには、ナンバーを選んだあと、必ず〈ENTER〉ボタンを押してください。
	自動伴奏を使っているときに、自動伴奏用鍵盤で弾いているため。	自動伴奏の音色は、あらかじめ決まっているので、ボイスセレクトで選んだ音色とは関係ありません。
鍵盤を同時に7音押さえても6音しか出ない。また、自動伴奏を使っているとき、鍵盤を3音同時に押さえても2音しか出ない。	音色の同時発音数は6音です。また、自動伴奏を使っているときの同時発音数は2音になります。	同時発音数以上の数を一度に押さえたときには、後から押さえた音が優先的に発音されます。
リズムの音が出ない。	シンクロスタート、またはスタートのボタンが押されていないため。	3ページの説明を読んで、操作もれがないかどうかを確認してください。
	シンクロスタートのボタンを押してからC# 3以下の鍵盤を押していないため。	
自動伴奏の音が出ない。	オートアカンパニメント・オン/オフスイッチが押されていないため。	5ページの説明を読んで、操作もれがないかどうかを確認してください。
	自動伴奏用鍵盤を押さえていないから。	

オプション (別売) のご紹介

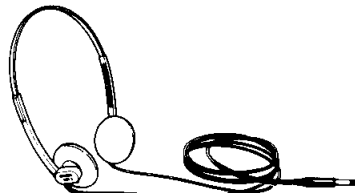
●電源アダプター

(PA-1B、PA-3) ¥2,000



●ステレオヘッドホン

(HPE-3) ¥3,000



仕様

- 鍵盤数 ミニ鍵盤37鍵 (C2~C5)
- ボイスバンク アコーディオン1、アコーディオン2、アルペンホルン、アルトサククス、バグパイプ、バンジョー、パーチャイム、バスクラリネット、バスーン、ブームピアノ、パウドベース、ブラス&マリンバ、チェロ、チャイム&オルガン、チャイムス、クラリネット、クラシックギター、クラビ1、クラビ2、ドリッパ、エレクトリックベース、エレクトリックピアノ1、エレクトリックピアノ2、エレクトリックトランペット、エレクトロニックオルガン、ファンタスティックピアノ、ファイヤーワークス、フルート、フォークギター1、フォークギター2、ファンキーマリンバ、グラスチェレスタ、グロッケンシュビール、ガーグル、ハンドベル、ハンドソー、ハーモニカ、ハーブ、ハーブシコード1、ハーブシコード2、ハーブシコード3、ハワイアンギター、ホンキートンクピアノ1、ホンキートンクピアノ2、ホルン、ヒューマンボイス1、ヒューマンボイス2、ヒューマンボイス3、アイズブロック、ジャミセン、ジャズギター、ジャズオルガン、ジャグ、コト、リーフスプリング、マリンバ、メタリックシンセ、ミュージックボックス、ミュートベース、ミュートトランペット、オーボエ、パンフルート、ピアノ1、ピアノ2、ピッコロ、ピクドベース、パイプオルガン1、パイプオルガン2、ポップコーン、リードオルガン、リバーズ、ロックギター1、ロックギター2、シャミセン、サインウエーブ、スラップベース、スモールチャーチ、ソフトトロンボーン、ソプラノサククス、スチールドラム1、スチールドラム2、ストリートオルガン、ストリングス、シンセベース、シンセブラス、テナーサククス、トイピアノ、トランジスターオルガン、トレモロオルガン、トロンボーン、トランペット、チューバ、ウクレレ、ビブラホン、バイオリン1、バイオリン2、ホイッスル、ウィンドベル、ウッドベース1、ウッドベース2
- ボイスセレクト 1、2、3、4、5、6、7、8、9、0、ENTER
- リズム (リズムセレクト)
8ビート、16ビート、タンゴ、サンバ、スイング、ボサノバ、マーチ、ディスコ、12ビート、ワルツ (テンポ)
◀、▶
スタート/ストップ、シンクロススタート
- オートアカンパニメント オン/オフ
- ドラムパッド シンバル、ハイハット、スネアドラム、バスドラム、タムタム
- その他 パワースイッチ、ボリューム
デモンストレーションスタート/ストップ
- 外部端子 HEADPHONES/AUX. OUT
DC (9~12V) IN
- 音源 FM音源
- アンプ 2W
- スピーカー 8cm
- 定格電源 DC9~12V (単3乾電池6本、電源アダプター PA-1、PA-1B)
- 消費電力 電源アダプター (PA-1B) 使用時: 3.7W
乾電池使用時: 2W
- 電池寿命 (デモ演奏時、VOL. MAX、マンガン電池)
6時間以上
- 寸法 (幅×奥行×高さ)
(全長) 566×(全幅) 196×(全高) 62mm
- 重量 1.5kg (電池含まず)
- 外装材質 スチロール樹脂
- 付属品 単3乾電池6本

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。